

自筆資料から読み解くバルトーク

『ミクロコスモス』刊行・作曲家生誕140周年記念
講演とディスカッション

日時 : 2021年 **7月13日** (火) **17:00~18:30**

場所 : Zoomによるオンライン開催

講演者 : **中原 佑介氏**

エトヴェシュ・ロラード研究ネットワーク人文学研究センター音楽学研究所
バルトーク・アーカイヴ、リサーチ・アシスタント

司会者 : **岡本 佳子** (神戸大学国際文化学研究科講師)

お申込み : <http://bit.ly/Promis0713>

※上記URLより事前登録をお願い致します。
ご登録後、ミーティング参加情報に関するメールをお送り致します。



概要

2016年から出版されているバルトーク・ベーラ批判校訂全集において、このほど『ミクロコスモス』(第40,41巻)が刊行されました。本セミナーではブダペストから編者である中原佑介氏をお迎えし、全集出版の意義や、自筆資料をもとにした校訂作業から明らかになるバルトークの音楽についてお話しいたします。音楽研究、演奏や楽譜、自筆資料にご興味のある方はぜひご参加ください。

講演者略歴

2007年よりハンガリー国立リスト・フェレンツ音楽芸術大学で音楽学を学ぶ(芸術学学士・修士)。2012年より同大学博士課程(音楽学・PhD)に進学。2020年に博士論文“Genesis and the ‘Spirit’ of Bartók’s Mikrokosmos”を同大学に提出。2015年よりバルトーク・アーカイヴにて『バルトーク・ベーラ批判校訂全集』の準備作業に携わる。編集者としては全集の第40,41巻にあたる『ミクロコスモス』を担当。



主催: 神戸大学国際文化学研究推進センター(Promis)

後援: 駐日ハンガリー大使館、ハンガリー文化センター

お問い合わせ先: 岡本佳子 (神戸大学国際文化学研究科) okamoto_y@people.kobe-u.ac.jp